

6.10 文化財

6.10.1 現況調査

対象事業実施区域の周辺地域に埋蔵文化財が存在し、事業による影響が予測されるため、埋蔵文化財の指定状況を既存資料調査により把握した。

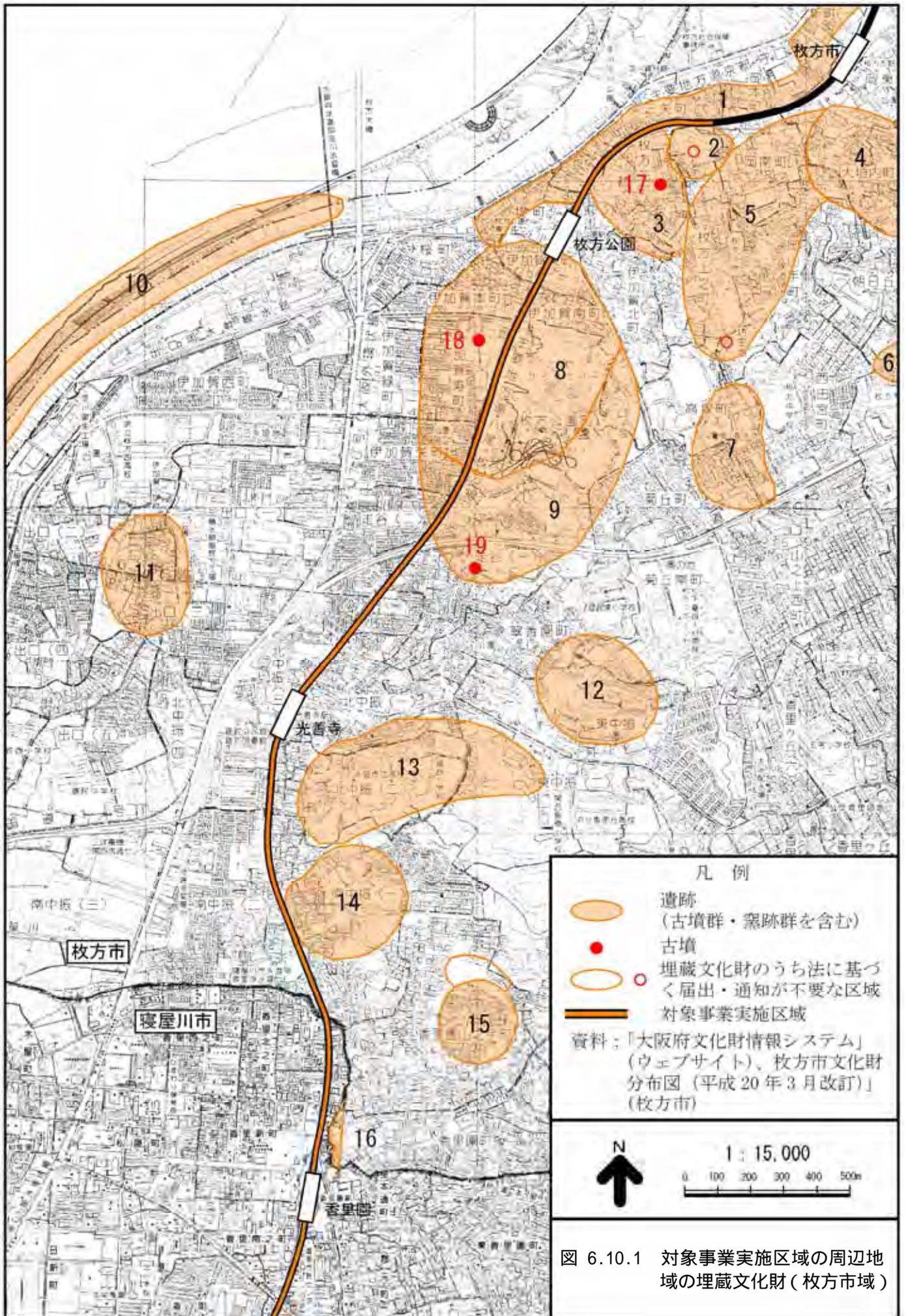
対象事業実施区域の周辺地域の埋蔵文化財の指定状況は、表 6.10.1～表 6.10.2 及び図 6.10.1～図 6.10.2 に示すとおりであり、事業計画路線は、伊加賀遺跡・伊加賀古墳群等を通過している。

表 6.10.1 対象事業実施区域の周辺地域の埋蔵文化財（枚方市域）

項目	図中番号	名称
遺跡（古墳群・窯跡群を含む）	1	枚方宿遺跡
	2	万年寺山遺跡
	3	枚方寺内町遺跡
	4	岡東遺跡
	5	枚方上之町遺跡
	6	田宮遺跡
	7	鷹塚山遺跡
	8	伊加賀遺跡
	9	伊加賀古墳群
	10	淀川河床遺跡（その3）
	11	光善寺寺内町遺跡
	12	中振遺跡
	13	中振ドウネンボウ遺跡
	14	蹉跎廃寺
	15	香里園山之手遺跡
	16	茨田郡条里遺跡
古墳	17	九々丸塚古墳
	18	姫塚古墳
	19	走谷堂山古墳

表 6.10.2 対象事業実施区域の周辺地域の埋蔵文化財（寝屋川市域）

項目	図中番号	名称
史跡・埋蔵文化財包蔵地	20	茨田郡条里遺跡
	21	郡六ノ坪遺跡
	22	楠遺跡
	23	池田下村遺跡
	24	郡八幡古墳
	25	成田遺跡
	26	三井南遺跡
	27	秦山遺跡
	28	讚良郡条里遺跡
	29	高宮八丁遺跡
	30	北木田遺跡
	31	長保寺遺跡
	32	法復寺遺跡



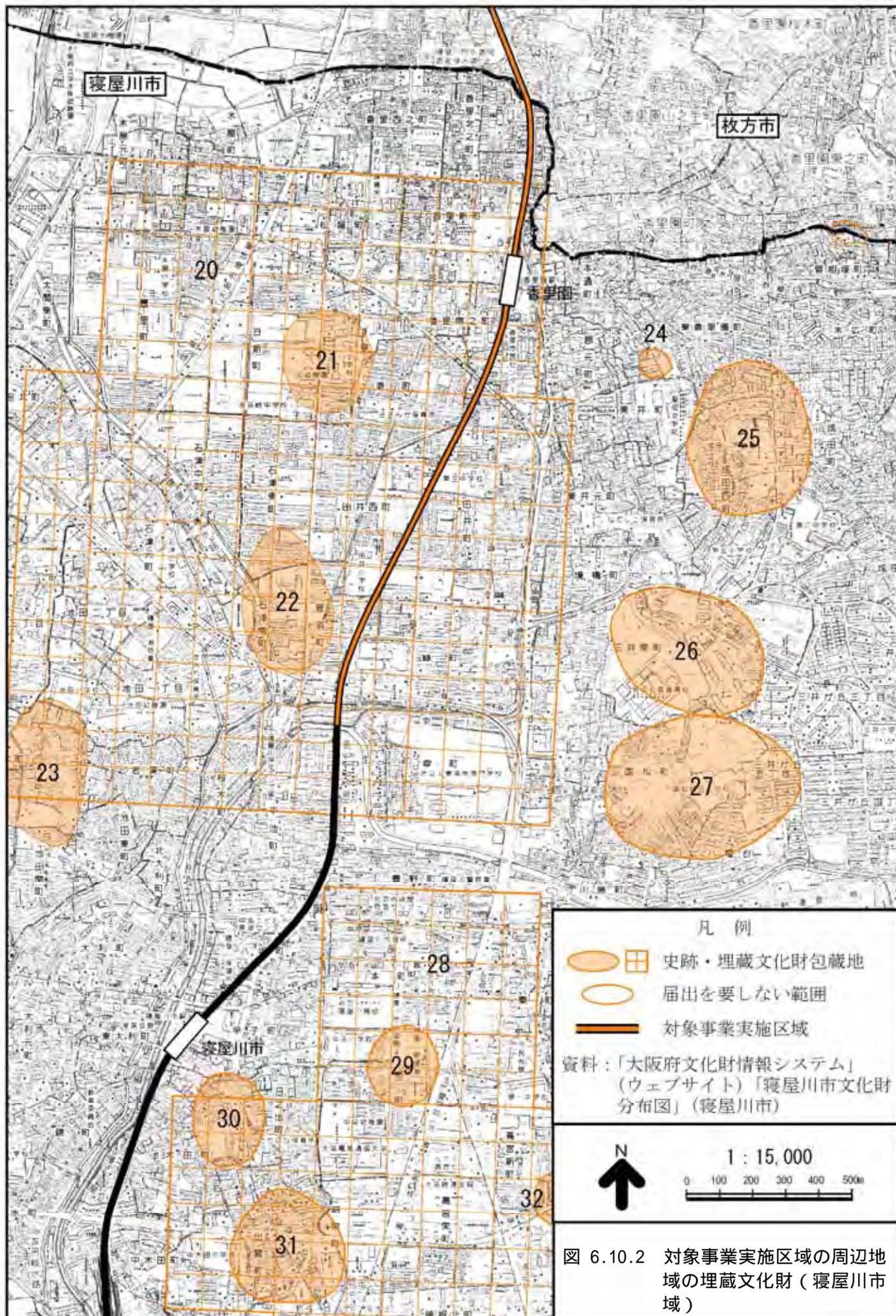


図 6.10.2 対象事業実施区域の周辺地域の埋蔵文化財（寝屋川市域）

6.10.2 工事の実施（土地の改変）に係る予測及び評価

(1) 予測の概要

土地の改変に伴う埋蔵文化財の予測の概要は、表 6.10.3 に示すとおりである。

表 6.10.3 土地の改変に伴う埋蔵文化財の予測の概要

環境影響要因		予測内容	
工事 の 実 施	土地の改変	予測項目	土地の改変に伴う文化財への影響
		予測事項	埋蔵文化財への影響の程度
		予測範囲	対象事業実施区域
		予測時期	建設工事中
		予測方法	現況調査結果及び事業計画から推定する方法

(2) 予測結果

対象事業実施区域は、枚方宿遺跡、万年寺山遺跡、枚方寺内町遺跡、伊加賀遺跡、伊加賀古墳群、蹉跎庵寺及び茨田郡条里遺跡の7ヵ所の埋蔵文化財包蔵地に位置している。

工事の実施に伴い土地を改変する際に、これらの埋蔵文化財に影響を及ぼすことが考えられる。そのため、工事の実施に際しては、教育委員会等の関係機関と協議を行い、必要な手続き等を踏まえながら進めていくものとする。

(3) 評価

(a) 評価の指針

土地の改変に伴う埋蔵文化財の評価の指針は、表 6.10.4 に示すとおりである。

表 6.10.4 土地の改変に伴う埋蔵文化財の評価の指針

環境影響要因		評価の指針
工事 の 実 施	土地の改変	①環境への影響を最小限にとどめるよう環境保全について配慮されていること。 ②環境基本計画、大阪府環境総合計画等、国又は大阪府が定める環境に関する計画又は方針に定める目標の達成と維持に支障を及ぼさないこと。 ③文化財保護法及び大阪府文化財保護条例に定める規制基準等に適合するものであること。

(b) 評価結果

工事の実施に当たっては、文化財への影響を最小限にとどめるよう、大阪府教育委員会等の関係機関と協議を行い、その指導の下に必要な調査を行い埋蔵文化財の有無を確認する。

また、工事中に埋蔵文化財を発見した場合には、大阪府教育委員会等の関係機関と協議を行い記録保存等の処置を講じることから、文化財保護法に基づき埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の保護に努めることができるものと評価する。

(c) 環境保全措置

土地の改変に伴う埋蔵文化財への影響を低減するために、以下の環境保全措置を行う。

- 工事の実施に当たっては、大阪府教育委員会等の関係機関と協議し、その指導の下に必要な調査を行い、埋蔵文化財の有無を確認し、適切に対応する。
- 工事中に埋蔵文化財を発見した場合には、大阪府教育委員会等に報告・協議を行い適切な保全措置を講じる。